

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	特進一貫	国語	古典	理系	必修	2

講座のねらい

古文：物語・日記・随筆など多くのジャンルの古文に触れ、作者や作品の文学史上の知識、古典常識の知識を習得します。
助詞と助動詞を中心に、丁寧な口語訳を行い、古文読解の向上と作品の理解に努めます。

漢文：故事、寓話、漢詩、歴史的な漢文を読み、中国の歴史の背景や作品の持つ意味を理解します。
漢詩の分類（絶句・律詩）や漢詩の技法（対句や押韻等）を知ります。
やや長めの漢文を読み、そこに現れる主な句形や重要語（漢字）のはたらきを理解し、正確な漢文読解が出来るようにします。

使用教材及び問題集

古文の教材：『高等学校古典B（古文編）』（第一学習社）
『新修 古典文法』（京都書房）『重要 古文単語 315 改訂版』（桐原書店）
古文のワーク・プリント類

漢文の教材：『高等学校古典B（漢文編）』（第一学習社）
『漢文必携』（桐原書店）
漢文のワーク・プリント類

共通の教材：『新版二訂 新訂総合国語便覧』（第一学習社）

授業の内容と進め方

古文：予習として、単元の原文をノートに書き写します。助詞と助動詞を中心に品詞分解を行います。難語句の意味を調べ、口語訳を行います。
授業は品詞分解と口語訳を中心に、指名しながら本文の読解を行います。
単元終了後に演習問題を利用して、文法の理解や読解力を身につけます。

漢文：予習として、単元の原文（白文）をノートに書き写す。教科書の訓読文を参考に、書き下し文を書きます。重要語を辞書で調べ、口語訳を試みましょう。
授業では、指名読みの後、書き下し文を参考に、白文に返り点送りがなを施させます。また、重要語や句形を中心に口語訳を行わせます。単元終了後の演習問題により定着を図ります。

講座の到達目標

教科書教材を中心に、古典文法や語彙、古文常識、漢文の句形や語句の意味を定着させる学習を行います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、小テスト、課題やノートの提出状況、授業態度や発言内容などを加味し、総合的に評価します。
提出物については、期限を厳守することを求めます。

備考

※提出物と課題：漢文と古文のプリントを課題として配布する予定です。課題や提出物は提出期日を厳守させます。
内容や提出期日を成績に反映させます。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・十訓抄（鎌倉時代の説話）「成方の笛」：官位や内裏に関する知識。助動詞と助詞の品詞分解を中心に。
- ・徒然草（鎌倉時代の随筆）「名を聞くより」：古文の三大随筆。助詞の意味を中心に。（より・を・も・は等）
- ・方丈記（鎌倉時代の随筆）「ゆく川の流る」：文体の特徴（対句・和漢混淆文）。栄枯盛衰・盛者必衰の主題の理解。

〈教科書内容・漢文〉

- ・故事・寓話 「推敲」：再読文字と否定形。
- 「知音」：部分否定と全否定。

※それぞれの故事から生まれた成語の意味を理解する。

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・伊勢物語（平安時代の歌物語）「通ひ路の関守」：通ひとは？。
- ・枕草子（平安時代の随筆）「かたはらいたきもの」：清少納言と紫式部について。中宮と皇后について。主題について。助動詞「完了」と「存続」。副助詞「だに・すら・さへ」。
- ・大鏡（鎌倉時代の歴史物語）「花山天皇の出家」：大鏡について知る。藤原氏の系図。二重敬語と二方面への敬語の理解。

〈教科書の内容・漢文〉

- ・絶句 「独坐敬亭山」「九月九日憶山東兄弟」：漢詩の分類。絶句の特徴（押韻）。
- ・律詩 「除夜寄弟妹」：律詩の特徴（対句と押韻）。
- ・史記 「項門之会」（項羽、大いに怒る）：紀伝体の歴史書と司馬遷について知る。登場人物の把握（項羽と沛公）。使役の句形（使・令）。否定の仮定（不者・不然）。

3 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・源氏物語（平安時代の物語）「光の君誕生」：源氏物語と紫式部について。女性の位（中宮・皇后、女御・更衣）。男性の官位（上達部・上人）。「に」の識別。主語の確認。内容の把握。

〈教科書内容・漢文〉

- ・論語：先哲の思想。

その他：課題（古文・漢文）